

認定条件

国土交通大臣認定番号	PS060FL-0080	PS060WL-0090
適用躯体 (国土交通大臣が認定した床・壁)	鉄筋コンクリート床	鉄筋コンクリート壁
	厚さ100mm以上	厚さ100mm以上
施工図		
施工条件	開口面積	0.6m ² 以下
	占積率	15.2%以下
貫通物条件 (最大サイズ)	ケーブル (1本当り)	導体断面積325mm ² 以下

各配管の施工条件等は認定書にてご確認ください。
詳細については、認定書にてご確認ください。

技術事項のご相談・お問い合わせは

株式会社 古河テクノマテリアル 防災事業部

TEL : 0463-24-9341 FAX : 0463-24-9346

〒254-0016 神奈川県平塚市東八幡5丁目1番8号

URL : <http://www.furukawa-ftm.com/>

ケーブル床・壁貫通部防火措置キット

イチジコ^{ビークー}-PK40キット

国土交通大臣認定 (床・壁用)

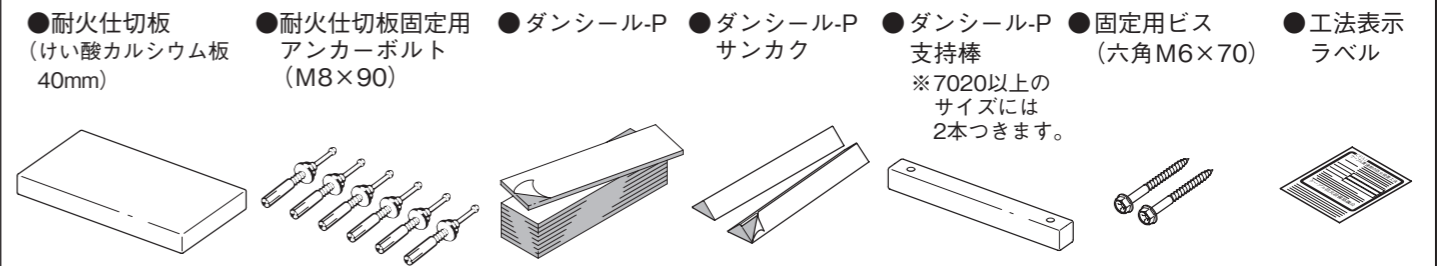
PS060FL-0080 (床) PS060WL-0090 (壁)

工法表示ラベルが
入っています

取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本紙をよくお読みの上、現場の状況に合わせて正しく施工してください。

梱包内容

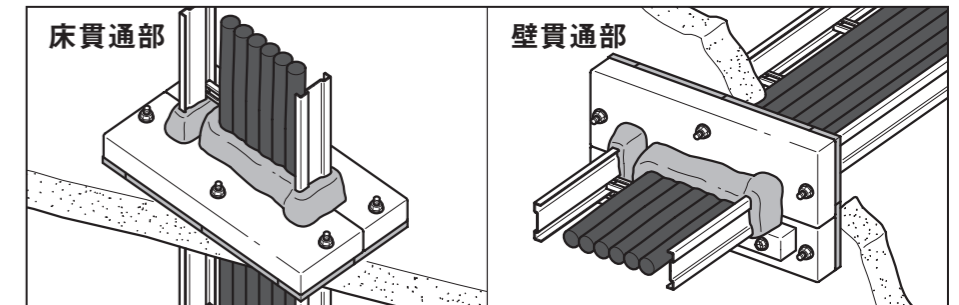


品番	適合		構成材料							梱包		
	開口サイズ (mm)	ケーブルラック幅 (mm)	ダンシール-P (kg)	耐火仕切板 (40mm厚) L×W (mm)	支持用補助材			取扱説明書・工法表示ラベル	質量 (kg)		荷姿	
					ダンシール-P支持棒 寸法(mm)40×40	固定用ビス (本)	アンカーボルト (本)		A	B		
PK40-3020	300×200	200	2.2	400×300	300	1	2	6	各1枚	6		1箱/組
PK40-4020	400×200	300	3.1	500×300	400	1	2	6	各1枚	8		1箱/組
PK40-5020	500×200	400	3.6	600×300	500	1	2	6	各1枚	9		1箱/組
PK40-6020	600×200	500	4.0	700×300	600	1	2	6	各1枚	10		1箱/組
PK40-7020	700×200	600	4.5	800×300	300	1	4	8	各1枚	5	6	2箱/組
					400	1						
PK40-8020	800×200	700	4.8	900×300	400	2	4	8	各1枚	6	6	2箱/組
PK40-9020	900×200	800	5.6	1000×300	400	1	4	8	各1枚	6	7	2箱/組
					500	1						
PK40-10020	1000×200	900	6.4	1100×300	500	2	4	10	各1枚	7	8	2箱/組
					600	1						
PK40-11020	1100×200	1000	6.8	1200×300	500	1	4	10	各1枚	8	8	2箱/組
					600	1						
PK40-12020	1200×200	1000	7.5	1300×300	500	1	4	10	各1枚	8	9	2箱/組
					600	1						

※ダンシール-Pの所要量は、貫通ケーブルラック幅の65%程度占めた状態で算出しています。所要量に不足が生じる場合には、別売のダンシール-Pをお買い求めください。

特長

- ① 片側施工で、作業性アップ。
- ② ロックウールは、使用しません。



⚠️ ご注意

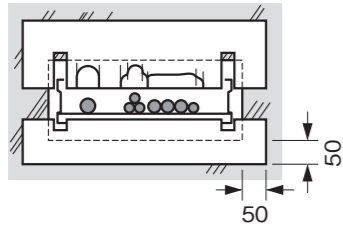
- 耐火仕切板と床及び壁の間には必ずダンシール-Pをはさんで取り付けてください。
- 壁貫通部の場合、ケーブル及びケーブルラック周囲のダンシール-Pの支持が必要となります。キット品付属の支持棒で支持を行ってください。
- 床、壁厚は100mm以上必要です。
- ケーブルと同時に合成樹脂製可とう電線管や鋼製電線管の貫通はできません。
- 耐火ボード壁(中空壁)、床ピット内、バスダクト、金属ダクト貫通部の施工については、認定範囲外となります。使用に関しては、事前に所轄の行政機関にお問い合わせください。
- 床貫通部で鋼製スリーブを使用される際には弊社までお問い合わせください。

施工手順

●必要工具：丸ノコ・ジグソー（刃は石こう用又は新建材用）・振動ドリル（φ8.4）・ハンマー・スパナ・カッターナイフ・ドライバー・スケール等

1. 耐火仕切板の切断（床・壁共通）

開口部・ケーブルラック及びケーブル形状に合わせて耐火仕切板（厚40mm）を切断加工します。この時、床面または壁面と耐火仕切板の被り代は50mm以上とします。

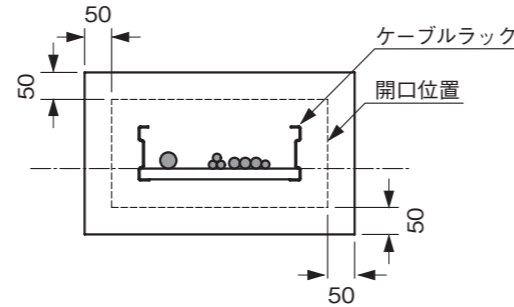


※ケーブルラック及びケーブルの形取りが大きすぎないように切断してください。（2～3mm大きめに切り込みます。）

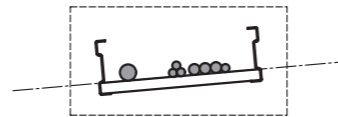


① 耐火仕切板の切断

ケーブルラックの子桁上面を基準に耐火仕切板を丸ノコ等で切断します。

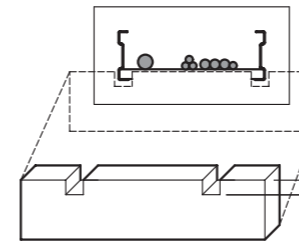


※下図のように開口とケーブルラックが平行でない場合がありますので左右確実に採寸してください。



② 下板の切り込み

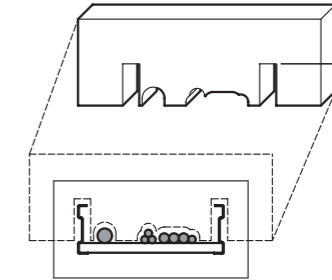
ラック下側に取り付ける耐火仕切板を親桁下部の形状に合わせてけがいてジグソー等で切り込みます。



※ラックの子桁上面からラックの親桁下面までの長さ+2～3mm分を切り込みます。

③ 上板の切り込み

ラック上側に取り付ける耐火仕切板を親桁上部及びケーブルの外周の形状に合わせてけがいてジグソー等で切り込みます。

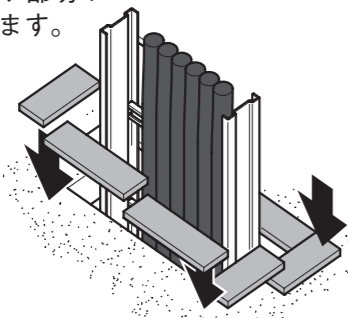


※ラックの子桁上面からラックの親桁上面までの長さ+2～3mm分を切り込みます。

床貫通部の施工手順

2. ダンシール-Pの貼り付け

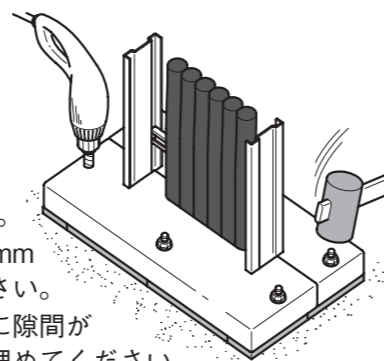
ダンシール-Pを耐火仕切板の床面の被り部分に沿って貼り付けます。



3. 耐火仕切板の固定

位置決めした後、耐火仕切板にドリルで下穴をあけ、その後、床面に振動ドリルで穴をあけハンマーでアンカーボルト（M8×90）を固定します。

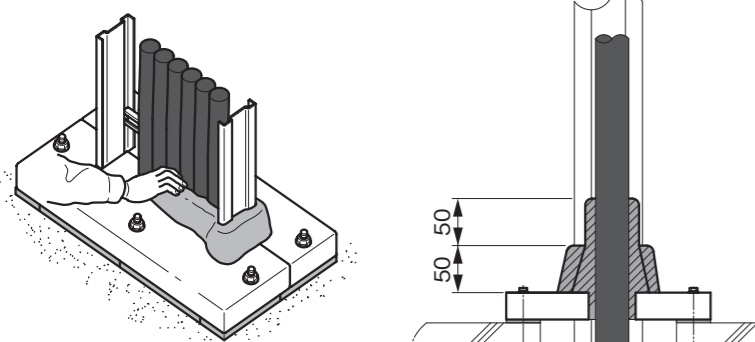
- ※ドリルのサイズはφ8.4です。
- ※長辺側アンカーボルトは300mm以下の間隔で施工してください。
- ※耐火仕切板のつき合わせ部に隙間がある場合はダンシール-Pで埋めてください。



4. ダンシール-Pの目詰め

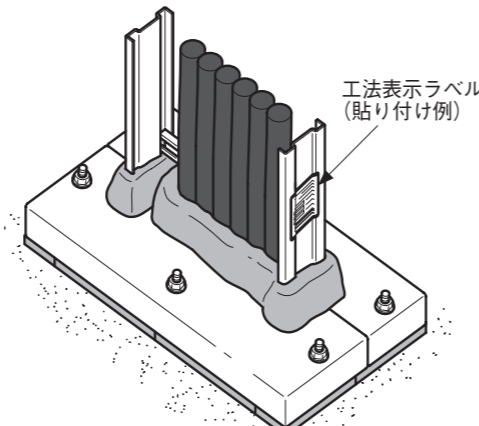
ケーブルの隙間にダンシール-Pを目詰めます。ダンシール-Pを耐火仕切板の表面から50mm以上盛り上げ成形します。

※ケーブルサイズが325mm²の場合、さらにダンシール-P（厚さ5mm）を50mm巻き付け合計100mm以上としてください。



5. 施工完了

最終仕上がりを確認して施工完了です。最後に工法表示ラベルを見える位置に貼り付けてください。

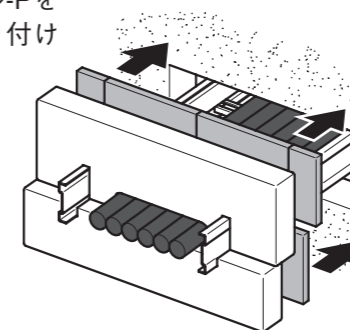


壁貫通部の施工手順

2. ダンシール-Pの貼り付け

耐火仕切板にダンシール-Pを貼り付けておくと、取り付け作業が楽にできます。

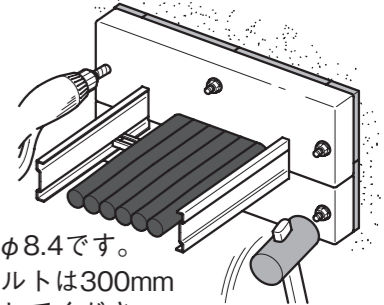
※ダンシール-Pの貼り付けにハイヒートコートG（ケイカライト用接着剤）を使用すると作業が楽に行えます。（別売品）



3. 耐火仕切板の固定

位置決めした後、耐火仕切板にドリルで下穴をあけ、その後、壁面に振動ドリルで穴をあけハンマーでアンカーボルト（M8×90）を固定します。

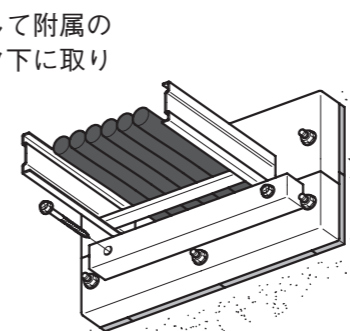
- ※ドリルのサイズはφ8.4です。
- ※長辺側アンカーボルトは300mm以下の間隔で施工してください。
- ※耐火仕切板のつき合わせ部に隙間がある場合はダンシール-Pで埋めてください。



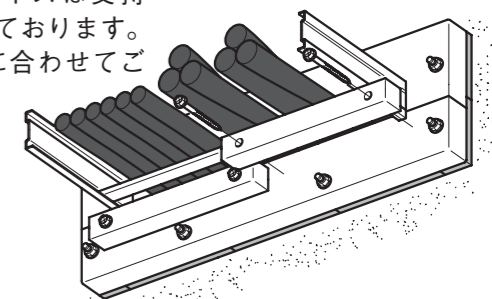
4. ダンシール-P支持棒の取り付け

ダンシール-P支持用として付属の支持棒をケーブルラック下に取り付けます。

※ケーブルのみの貫通の場合はケーブルの下に取り付けてください。



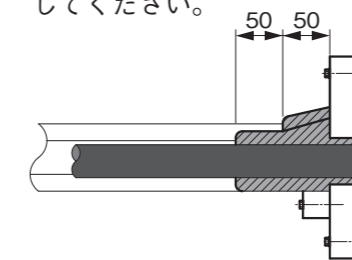
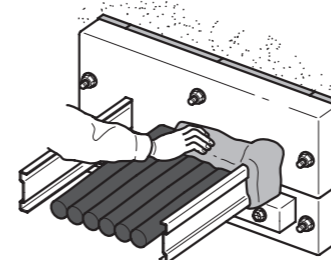
※7020以上のサイズは支持棒が2本になっております。ラックの長さに合わせてご使用ください。



5. ダンシール-Pの目詰め

ケーブルの隙間にダンシール-Pを目詰めます。ダンシール-Pを耐火仕切板の表面から50mm以上盛り上げ成形します。

※ケーブルサイズが325mm²の場合、さらにダンシール-P（厚さ5mm）を50mm巻き付け合計100mm以上としてください。



6. 施工完了

最終仕上がりを確認して施工完了です。最後に工法表示ラベルを見える位置に貼り付けてください。

